

聾学校地域支援だより

入試を終えた先輩たちにインタビュー



私立や公立の高校入試が終わり、中学校3年生の進路が決まりました。受験生の皆さん、おめでとうございます！

入試を終えた皆さんに、配慮の申請や役に立った勉強法など、アンケートに答えていただきました。今後、入試を控える皆さんは参考にしてください。



質問1 入試先でどんな合理的配慮を受けましたか？

< 私立高校編 >

- ・座席の配慮をもらった。(真ん中の列の一番前の席)
- ・ミニマイクを使ってもらった。(補聴援助システムの使用)
- ・個人面接の予定だったが、高校側の都合により集団面接になった。ミニマイクを話す面接官の前に移動してもらった形で面接を受けた。
- ・集団面接を個人面接に替えてもらった。
- ・英語のリスニングは別室でスピーカーの近くに補聴援助システムを置いてもらった。



< 公立学校編 >

- ・座席を配慮してもらった。(前から2番目左から2列目)(1列目)
- ・集団面接を個別面接に替えてもらった。
- ・事前の連絡では体調不良者がいる場合マスクを外すことができないとのことだったが、当日はマスクを外して話をしてもらった。
- ・試験での説明内容や注意書きをプリントで出してもらった。
- ・面接時に自分の順番がきたら直接呼びにきてもらった。
- ・英語のリスニングテストでは別室でスピーカーの前に補聴援助システム(ロジャー)を置いてもらった。



県立高校の受検において合理的配慮の提供を受けるには、状況報告書の申請が必要です。

合理的配慮は中学校の校長先生と、受検・受験先の校長先生との話し合いによって決定されます。



💡 ロジャーなどの補聴援助システムの使用について

マイクを渡すタイミングは入試先の高校によって様々です。マイクの使い方だけではなく、「誰に渡すのか」、「いつ渡していつ受け取るのか」など、細かいことについて、相談しておくことで安心して試験に臨めます。

質問2 配慮の申請についていつ頃から考え始めましたか？

- ・2年生の3学期
- ・3年生の1学期

質問3 配慮のことなどについて考えておいてよかったことは何ですか？

- ・座席の位置。
- ・マイクを使ってもらう方法やタイミングについて。
- ・英語のリスニングについて、テロップ代替にするか音声にするか自分に合う方法を決められた。

質問4 「こんな勉強方法が役に立った！」というものがあれば教えてください！

- ・暗記が苦手だったのでノートに語句をひたすら書いた。
- ・英語は単語を覚える。数学は計算をたくさん解く。国語は読解力をつける。(整理と研究)


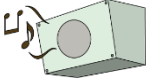


質問5 後輩たちへ向けて、ひとことお願いします！！

- ・がんばってください！！
- ・ちゃんと勉強すればよかったと後悔しないように頑張ってください。



今まで先輩たちが受けてきた一例です。

<高校入試>

どんな場面	どんな配慮を受けたか
●全体説明・ 学科試験 	<ul style="list-style-type: none"> ・補聴器・人工内耳の持ち込み、装用を許可してもらう。 ・予備電池の持ち込み、電池切れの際の交換操作を許可してもらう。 ・席を前の方にしてもらい、口元が見えるようにする。 ・試験官に補聴援助システムを使用してもらう。 ・急な連絡や変更事項は文章メモで個別に伝達してもらう。
●英語のリスニング 	<ul style="list-style-type: none"> ・スピーカーの近くの席にもらう。 ・スピーカーの近くに補聴援助システムを置いてもらう。 ・音声が聞こえやすいよう、別室で試験を受ける。 ・別室にて、音声に替えて字幕テロップを流してもらう。 ・ヘッドホンを使用する。
●面接 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の番が来たら呼びに来てもらう。 ・面接官との距離を近くしてもらう。 ・集団面接を個別面接に変更してもらう。 



聾学校HPの入試に関するQ&Aを更新しました！

Q&A15の内容を更新しました。高校入試だけでなく大学入試でも先輩方が受けた配慮の例や配慮申請について紹介しています。是非ご覧ください！